

主な供養の行事

※地域や宗派により違いがあるので確認が必要です

仏式の場合(法要事)

死亡日を含めて	呼び方	内容
7日目	初七日	葬儀当日に繰り上げて行う事もある。(僧侶に確認)
14日目	二七日	拝礼だけで済ませる事もある。(僧侶に確認)
21日目	三七日	拝礼だけで済ませる事もある。(僧侶に確認)
28日目	四七日	拝礼だけで済ませる事もある。(僧侶に確認)
35日目	五七日	拝礼だけで済ませる事もあるが、忌明けの法要を行う事もある。 (四十九日が正式)
42日目	六七日	拝礼だけで済ませる事もある。(僧侶に確認)
49日目	七七日忌	四十九日。 親族や知人を招き忌明けの供養をする。納骨式も同時に行う事が多く、 白木位牌から塗位牌または過去帳(宗旨により異なる)にかえ仏壇に納める。
初めての盆※	初盆	仏の供養を行う。※亡くなった日によって順番が変わります。
死後100日目	百か日	故人をしのんで供養する。七七日忌と合わせたり、遺族だけで行う事もある。 (僧侶に確認)
死後1年目	一周忌	親族・知人を招き、故人をしのんで供養する。以後は祥月命日に法要を行う。
死後2年目	三回忌	親族・知人を招き、故人をしのんで供養する。(死亡年を含めて3年目)
死後6年目	七回忌	故人をしのんで供養する。これ以降は遺族のみで行う事が多い。 (死亡年を含めて7年目)
死後12年目	十三回忌	故人をしのんで供養する。(死亡年を含めて13年目)
死後16年目	十七回忌	故人をしのんで供養する。(死亡年を含めて17年目)
死後22年目 死後24年目 死後26年目	二十三回忌 二十五回忌 二十七回忌	故人をしのんで供養する。 (死亡年を含めて二十三回忌は23年目、二十五回忌は25年目、 二十七回忌は27年目) この間、二十三回忌と二十七回忌の2回行う場合や、二十五回忌だけ 行う事もある。(僧侶に確認)
死後26年目	二十七回忌	故人をしのんで供養する。(死亡年を含めて27年目)
死後32年目	三十三回忌	故人をしのんで供養する。(死亡年を含めて33年目) 地域・宗派により年忌法要はこれをもって切り上げる事もある。 (吊い上げ)
死後49年目	五十回忌	故人をしのんで供養する。 地域・宗派により年忌法要はこれをもって切り上げる事もある。 (吊い上げ)
その他、三十七回忌、四十三回忌、四十七回忌、百回忌、などの法要がある場合があります。		

※一周忌は亡くなってから満一年目に行いますが、他の「〇回忌」という法要は満年数マイナス一年で行います。

※現在は初七日(繰り上げ)、七七日忌(四十九日)のみ行うケースも多いのですが、宗派や地域によって異なります。

また、その際には僧侶に意向を伝え確認しましょう。

※命日前の休日などに合わせて、法要の日を多少変えてもかまいません。

但し、繰り上げるのはよいですが、遅れてはいけません。

※年回は土地や宗派によって異なっており、菩提寺に確認してみましょう。